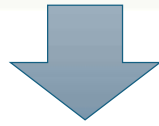


伏見区まちづくり運営方針（案）

【まちづくりの目標】

「歴史、文化、産業を学び合い、未来へ紡ぎ、
誰もが愛着を感じるまち伏見」

伏見区は、市内最大の人口に加え、悠久の歴史の中で培ってきた文化や産業、豊かな自然環境と多様なコミュニティを有する地域です。それぞれの地域の特徴を活かし、多様な人々がつどい、つながり、支え合う関係を構築するとともに、すべての人に「居場所」と「出番」があり、誰もが幸せを感じ、生きがいを持って活躍できるまちづくり、また、将来にわたり住み続けたいと思える「伏見への愛着」をはぐくむまちづくりを目指します。



伏見区は、「歴史や文化、産業をみんなで学び合うとともに、豊かな自然を守りながら、未来に伝えていき、誰もが『伏見っていいな！』と感じ、愛着を持てるまち」を目指します。

そのために、以下の4つの方向性を持って、まちづくりを進めます。

- ① 伏見で紡がれた歴史、文化、産業を互いに学び合うとともに、豊かな自然を守り、地域の魅力を再発見し、これらを次世代へ継承していくまち
- ② 地域の「絆」で互いに支え合い、誰もが安心安全に住み続けられるまち
- ③ 地域ぐるみで子ども・若者の健やかな成長を育み、全ての世代が生きがいを持って健康に暮らせるまち
- ④ 伏見が長年にわたり継承してきた、ものづくりや食、商業、観光等の産業を基盤とした、新たな価値の創出による経済・産業・観光振興のまち

伏見区まちづくり運営方針（案）

【まちづくりの方向性】

① 伏見で紡がれた歴史、文化、産業を互いに学び合うとともに、豊かな自然を守り、地域の魅力を再発見し、これらを次世代へ継承していくまち

- ・ 伏見は、伏見城の築城や水運の発展、酒造文化の隆盛など、日本の歴史を動かす舞台となってきました。また、深草地域には、稻荷山をはじめとする豊かな自然環境、近代の文化遺産や教育機関の知が息づいており、醍醐地域は、古くから京都・奈良・近江を結ぶ交通の要衝として栄えたほか、世界文化遺産である醍醐寺をはじめ歴史と文化が深く根付く地域です。
 - ・ これらの有形・無形の資産を単なる知識として保存するだけでなく、生涯学習や学校教育を通じて、現代の視点から学び直す機会を創出します。
 - ・ また、「京都基本構想」が掲げる文化の創造性を活かし、伝統を現代のライフスタイルに融合させながら、伏見のアイデンティティを次世代へと確実につないでいきます。
 - ・ 幅広い世代が共に学び合い、交流し、活躍できる機会を創出することで、大切に育み、紡いできた文化や産業を次世代へ継承するとともに、京都への愛着を醸成し、伏見に住み続けたい、また訪れたいと思っていただけるよう取組を進めます。
- 令和8年度の具体的な取組
- ・ わくわく学び塾「ふしみどころ」（三所）
区内企業等と連携し、伏見の魅力を再発見する学びの場を提供する。
 - ・ 伏見魅力発信パートナー制度（三所）
伏見の奥深い魅力発信のため、民間等の多様な取組を支援する。
 - ・ 深草ファンによる地域活性化プロジェクト（深草）
深草地域で培われている学藝を体感できるセミナー等を実施する。

② 地域の「絆」で互いに支え合い、誰もが安心安全に住み続けられるまち

- ・ 社会構造が変化し、孤立化が課題となる現代において、「京都市地域コミュニティと市民参加に関するビジョン」に基づいた、顔の見える関係づくりを進めます。
 - ・ 自治会活動やボランティア、多文化共生などのネットワークを強化し、災害時には助け合い、平時には見守り合える「包摂型（ほうせつがた）のコミュニティ」を構築します。
 - ・ 誰もが取り残されることなく、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる基盤を整えます。
- 令和8年度の具体的な取組
- ・ 学区の安心安全ネット継続応援事業（三所）
地域主体の安心安全の取組を支援する。
 - ・ 地域防災支援プロジェクト（三所）
地域の防災活動や区民の防災意識の向上に向けた取組を展開する。
 - ・ 地域のまちづくりサポート事業（深草）
幅広い分野で地域活動に取り組む地縁組織等の活動の支援を通じて、地縁組織の活動を活性化させ、地域の安心安全なまちづくりをより一層推進する。



伏見区まちづくり運営方針（案）

③ 地域ぐるみで子ども・若者の健やかな成長を育み、全ての世代が生きがいを持って健康に暮らせるまち

- ・ 「京都市はぐくみプラン<2025-2029>」と連動し、子どもや若者を社会の真ん中で大切にすまちづくりを進めます。
- ・ 家庭・学校・地域が連携し、若者が将来に希望を持てる教育環境や居場所を確保するとともに、全ての世代が生涯にわたって心身ともに健やかに過ごせるよう、健康増進やスポーツ推進、食育を支援します。
- ・ 次世代が伏見の未来を担う一員として成長できる環境を、地域一丸となって創り上げます。

○ 令和8年度の具体的な取組

- ・ 未来を担う「ふしみっ子」はぐくみプロジェクト（本所）
子育て家庭が安心して子育てできるように支援するとともに、地域ぐるみで子育てができる環境づくりを推進する。
- ・ ここ(心)から(体)元気に！健康長寿のまち・深草（深草）
幅広い年齢層を対象に、地域において区民が主体的に健康づくりに参加する機会を創出することにより、地域ぐるみで健康づくり事業を推進する。
- ・ 子育てしやすいまち、子どもを育むまち醍醐（醍醐）
子育て支援団体等と連携し、子育てイベントを実施することで団体間の交流・連携を強め、子育てしやすいまちの発展を目指す。

④ 伏見が長年にわたり継承してきた、ものづくりや食、商業、観光等の産業を基盤とした、新たな価値の創出による経済・産業・観光振興のまち

- ・ 伏見が誇る「酒造り」や「伝統工芸」、そして「商店街の活力」や「食文化」を経済のエンジンとして再定義します。
- ・ 「新京都戦略」の視点を取り入れ、伝統的な産業にスタートアップのアイデアやデジタル技術を掛け合わせることで、新たな付加価値やビジネスチャンスを生み出します。
- ・ 観光面でも、地域の暮らしと調和した質の高い観光体験を提供し、持続可能な経済循環を生み出すまちを目指します。

○ 令和8年度の具体的な取組

- ・ 伏見地域の経済・観光振興（本所）
伏見港の水辺空間の魅力向上や舟運における「京都の玄関口」としての伏見の魅力創造、発信及び伏見の更なるブランディングに努める。

